

人間の、美しさを考える

HAIR MODI

2018
Sept

S

Contrast

+ DIGITAL
EDITION



今回のメニュー

キレイ髪 ヘアエステ + 毛穴ケアコース

頭皮ケア



3. 頭皮をピーリング

角質や酸化脂質を取り除くピールシャンプーで余分な角質、脂質をとる。ごしごし洗わずに、泡を頭皮になじませて2~3分放置後、水洗する。

2. 炭酸泡で汚れを落とす

クレンジングソーダで頭皮や髪に付着した油や不純物をクレンジング。汚れをしっかり落としておくと、トリートメント成分や栄養成分も入りやすい。

古い酸化脂質と角質が毛穴に

頭皮ケアメニューを初めて受けるモデル。スコープで確認すると頭皮トラブルはないが、古い酸化脂質と角質が毛穴をふさいでいる状態だった。



1. 頭皮診断

マイクロスコープで頭皮の状態をお客さまと共に確認。状態に合わせて、おすすめする頭皮ケアのコースを判断する。

何度も行なうシャンプー施術は役割をしっかり意識

トリートメントや頭皮ケアに限らず、薬剤を使うメニューなら施術中に2度以上はあるシャンプーのタイミング。頭皮を洗うのか、髪を洗うのか、力加減やマッサージの有無はどうなるか。シャンプーの役割に応じて適切な施術方法は異なる。



5. じっくり蒸らす

ホットタオルは冷めると効果がなくなる。冷めないようにヘムライン、ネープを中心に5分程度お湯をかけ続ける。

4. 温めて血行促進

ホットタオルを巻いて頭皮を蒸らし、頭皮の血行促進を促す。毛穴も開くので、毛穴の奥に残っていた汚れが浮き出しやすくなる。

ヘアケア



8. 超音波で成分を浸透

薬液を塗布した髪に超音波アイロンを当て、振動で薬液を浸透させる。

7. まずキューティクルを補修

毛髪内物質の流出を防ぐことからヘアエステをスタート。荒れたキューティクルを内側から補修する成分を、髪全体に塗布する。

水と空気を均一に含ませて泡立てる

水：空気：シャンプーを1：1：1にして泡立てるイメージ。



6. 保湿しながら髪を洗う

頭皮ケアに続き、髪を中心洗う。保湿成分が入ったノンシリコンのシャンプーをしっかり泡立て、全体を洗い終えたら水洗する。



キューティクルを開かずに栄養分を入れるのがウチノ式

膨潤を繰り返すたびに、髪は再生力を失っていく。そのため「ヘアエステ」では髪を膨潤させてキューティクルを開くのを避け、超音波アイロンと加温の繰り返しによって、キューティクルを開かずに毛髪内部に補修成分を入れる方法をとっている。薬液も分子量が小さいものを採用。

10. 10分加温

加温によってさらに薬液の浸透を促す。



9. 髪に栄養分を入れる

アミノ酸など髪内部の間充物質を補う成分が入った薬液を、髪全体に塗布する。

剤をつける度に超音波&加温

トリートメント剤を髪内部にしっかり入れ込むために、繰り返し超音波アイロンと加温を行なう。



13. 表面をコーティング

超音波アイロンを当ててから、キューティクルのコーティング剤を塗布し、10分間の加温を行なう。この剤には毛髪を弱酸性に戻す役割もある。



12. キューティクルを保湿

キューティクルを補修、保湿する成分を髪全体に塗布。その後、10分間の加温を行なう。



11. 超音波アイロン、再び

薬液を塗布した箇所を中心に超音波アイロンを当てる。

頭皮ケア



17. タッピングで浸透アップ

1秒間に100回前後振動するタッピング機を使い、美容液を塗布した部分をタッピングして浸透を促す。



16. 育毛を助ける美容液を

ハーブとヒト幹細胞培養液エキスを配合した頭皮美容液を、生え際や分け目、薄毛が気になる部分に塗布。



15. 頭皮マッサージ

トリートメント剤をつけた状態で、頭皮を強めにマッサージする。頭皮を動かし、血行を促進させる。



14. 豊かな頭皮に

一度水洗し、頭皮と髪に使えるトリートメント剤でトリートメントを行なう。残った酸化脂質を落とし、頭皮と髪に栄養を入れる。

Finish



ふんわり
軽やかな艶髪に



18. 頭皮の状態を再チェック

改めてマイクロスコープで頭皮の状態を確認。ビフォアからの変化をお客さまにも実感していただく。

毛穴がはっきり見えるように!

Before

全体的に皮脂が残っており、毛穴にも皮脂や汚れが詰まっている状態。右の写真の赤い点が、酸化脂質。



After

頭皮に瑞々しさと透明感が感じられ、毛穴もはっきり見えるように。酸化脂質を示す赤い点もなくなった。

